

春の七草への想いヒップホップにのせて消費者へ

農家作詞作曲「NANAXXA RAP」配信中



豊田市松平地区で春の七草を栽培する安藤源さん（39）は、七草の魅力を世代年齢問わず多くの人に知ってもらおうと、「NANAXXA RAP（ナナクサラップ）」を制作しました。

歌詞は、農家ならではの目線で書かれ、雑草として扱われる七草が生長し、1年間の無病息災を祈って1月7日に食べる七草がゆになるストーリー。七草がゆの作り方も歌詞に含まれています。七草と和テイストのヒップホップを合わせた斬新な手法で、作詞作曲を自ら手がけ、歌っています。

安藤さんは七草の栽培を始めて今年で13年目。JAあいち豊田セリ・七草部会全体の約7割を占める2万パックを出荷し部会を支えています。同地区は県下有数の七草の産地ですが、生産者の高齢化で産地の継承が危うくなってきていることから「先輩農家が築き上げた、松平の七草のブランドを継承し、産地を守りたい」「七草の魅力を多くの人に知ってもらい、興味を持った人と一緒に栽培したい」と歌を制作しました。

楽曲は音楽ストリーミングサービス「Spotify」などで配信中のほか、ポットキャスト番組「ベジフル大百科The CROPS」でも紹介されます。

今後も、農家ならではの目線で、様々な農産物の楽曲を制作し配信していく予定です。



▲七草を栽培する安藤源さん（39）

音楽ストリーミングサービス「Spotify」で配信中の「NANAXXA RAP（ナナクサラップ）」はコチラから→



取材対応について

取材希望の方は随時対応いたします。

安藤様に取次ぎをいたしますので、必ず下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：JAあいち豊田 総務部 広報課 伴

住所：豊田市西町4-5 TEL (0565) 31-2361 FAX (0565) 34-1369

平日9:00~17:00